

# 平昌冬季オリンピック中継報告

制作技術部

## 1.はじめに

2018年2月9日～2月25日に韓国(平昌と江陵)で冬季オリンピックが開催されました。現地の熱狂ぶりと道内選手の活躍状況を「今日ドキッ!」内で中継することになり、カメラ兼伝送担当として出張してきました。1月に行った事前伝送テストと併せて報告します。

## 2.下見スケジュール

<1月8日>

8時:新千歳空港着(カルネの申請、レンタルルーターの受取り、出発2時間前に手荷物を預け出国審査)

11時50分:新千歳空港発

15時:仁川国際空港着(カルネの申請、レンタルルーター、レンタカー受取り)

19時:ソウル市内到着(仁川国際空港～ソウル間は車で1時間)、投宿(ドーミーインプレミアム・ソウル・カロスギル、日本語を喋れるスタッフが多かったので非常に助かりました)

<1月9日>

9時:ホテル出発(移動開始)

13時:平昌到着(普通は車で3時間程度ですが、12月にKTXが開通しソウル～平昌間が1時間30分で行けるようになりました)

17時:テスト終了(ソウルに戻る)

21時:ソウル着(投宿)

<1月10日>

8時:ホテル発

9時:空港着(カルネの申請、レンタルルーター返却、各種手続き)

14時20分:仁川国際空港発

17時:新千歳空港着

## 3.LiveUのテストに関して

テストは以下の場所で行いました。

- ・平昌オリンピックスタジアムの近く(開会式)
- ・アルペンシアオリンピック・パーク(スキージャンプ)
- ・江陵一帯(スケートなど室内競技、平昌主要会場から約1時間)

今回のテストのため、simを挿せる基盤をメーカーから借りました。テスト期間は無償で貸してくれましたが、本来は費用がかかります。貸し出せる数は4本までで、これにamazonで事前に購入しておいたアジア各国で使用できるデータ用simと、現地で購入したKT社製データ用simを挿して使用しました。どちらもアクティベーションは必要なく、LiveUに挿して電源を入れただけで使用できました。

結果としては、どの会場でも特に問題なく使用できました。伝送容量は1

秒ディレイで単体使用でも 9Mbps 程度出ており、カメラを素早く PAN した時の映像破綻等も見られず、音声も問題ありませんでした。2 本同時に使用すると 4.5Mbps と、それぞれ均等に伝送をしていました。

また、sim 基盤の他にレンタルルーターを有線、無線でそれぞれ繋いでみたところ、こちらも問題なく使用できました。全て(sim×2、無線×1、有線×2)を繋いでみると 11Mbps 以上出ましたが、これは有線接続の方に制限をかけてなかったからだと思います。

変動も特に無かったので伝送環境としては申し分ありませんが、あとは本番時に人が多くなった時、どれだけ帯域を確保できるかが懸念されました…。そしてその懸念は現実に…

<買った sim (マイクロ sim) >

- ①AIS アジア 14 カ国 周遊プリペイド SIM 4GB 8 日間 4G・3G (amazon で購入)
- ②KT 社製 Prepaid Data SIM データ量無制限 4G (仁川国際空港で購入、返却不要)



<借りたモバイルルーター>

- ①グローバル wifi 4G 超大容量 (1GB/1day) 3 日間 2100 円 新千

歳空港受取

②Wi-Ho! 4G 無制限プラン 3 日間 5250 円 新千歳空港受取

③LG U+ 4G 無制限 3 日間 約 2400 円 (モバイルバッテリー付き) 仁川国際空港受取返却

#### 4. オリンピック本番へ

中継スタッフはアナウンサー、ディレクター、カメラ、コーディネーター、現地ドライバーの計 5 人で、常に一緒に行動していました。運転手のキムさんは元々テレビ工場の経営者で、倒産後にアルゼンチンでテコンドーの先生をし、現在は韓国のテレビ局で放送している「PD 手帳」という番組のドライバーを 20 年近くやっているという異色の人です。



開会式がある平昌冬季オリンピックパーク

宿泊先は宿泊代高騰などのためホテルを諦め、3L のマンションに宿泊することになりました。想像していた以上に広く、大家さんからミネラルウォーターとビール、みかんやコーヒーの差し入れを頂き、非常に快適に過ごすことができました。マンションには Wifi が完備されており、速度も上り約 13Mbps、下り約 21Mbps と速く、曜

日や時間帯に関係なく常時安定していました。



宿泊先の部屋兼伝送基地

## 5. 現地での動き

2月8日に韓国入り(仁川国際空港)し、そのまま宿泊先がある江陵へ車で移動しました。(約3時間半)

9日朝は江陵駅へ行き、オリンピック観戦に来ている日本人や外国人に取材。この日は開会式のため平昌のスタジアムに移動しようとしたのですが、警備が強化されていたため、会場周辺になかなか近づくことができずにいました。そこで力を発揮してくれたのが運転手のキムさんです。

乗っている車のダッシュボードには韓国のテレビ局の社名が入ったプレートが置いてあり、「自分たちは韓国のテレビ局の中継クルーで、機材と人を下ろすだけだから」と言い張って、大会関係者しか入れない所もどンドン入り込んで行きました。実際キムさんのおかげで開会式会場の近く等、色々な所に入ることができました。

現地での1日の動きはだいたい以下のようになっていました。

**10時**: 宿泊先を出発。競技場周辺にいるファンへのインタビューや、暇ネタ

を探しに江陵駅や競技場周辺へ。

**12時**: ドライバーさんが探し出してくるおすすめの店で昼食。

**13時**: 中継場所探しや必要な物の買い出し。

**14時**: 中継場所で回線チェックと簡単な打ち合わせ。

**15時**: クロストークチェック。

**15時45分**: 番組冒頭で現地からの中継。

**18時台**: 4部での中継。終わり次第可能なら夕食を取り、競技の観戦兼取材へ。

**20時半**: 競技場で選手関係者探しと席の確保をして競技開始。

**22時半**: 競技、囲み取材終了。投宿。競技が無い時は表彰式会場に行き取材。競技日程によって前後しますが、毎日このように行動していました。

## 6. 伝送に関して

本番時はHBC所有のLiveUを使用するため、メーカーから基盤を4本レンタルしました。使用したsimは容量制限の無いKTの30日間使用できるデータsimです。テスト時にはKTだけでも問題は無かったのですが、回線業者が一つだと不安なので、下見時に使用したamazonのsimも持って行きました。また、モバイルルータを無線接続することにより、非常時以外は常時安定した速度が出ていました。

<非常時①: 開会式>

開会式会場で行なった6時台中継は、あまりの人の多さと、IP伝送装置を使

用している局が多く（ぱっと見た限り LiveU が一番多かった）、回線が不安定になり、ほぼ動き無しで中継せざるをえませんでした。その後開会式が始まり、LiveUを使用している韓国のTV局の回線が繋がらないのか、慌てふためいた結果、全てを諦めて花火を見ている姿が印象的でした。

＜非常時②：フィギュア男子フリー＞  
フィギュアスケート男子フリーで羽生結弦選手が金メダルを取った時、日本の局が一斉に同時時間帯（今日ドキッ！も枠大で15時スタートでした）に生中継をしようとして、一気に回線が不安定になりました。人が多く一箇所にIP中継装置が集まると、電波の食い合いになる典型でした。

今回は現地での編集が無かったので、Prunusを借りずに軽量のノートPCにSTORMを入れて伝送をしました。マンションのwifiが非常に安定していたので、途中で伝送が途切れることも無く、問題無く伝送できました。

## 7. 「今日ドキッ！」中継に関して

「今日ドキッ！」内の中継はその日の競技や注目度でネタを決めていました。基本的に会場近くで場所を探し、顔出し時にはできるだけ動きをつける事と、色々な場所に行く事を心がけていました。せっかく現地からレポートするので、より多くの情報を伝えようとの考えからです。また、三脚付きだとハプニングや急なインタビューに対

応できないという思いもありました。

反省点としては、これだけ動き、事前取材も多かったので、ENGカメラを持っていけば良かったと思いました。荷物量の増加と、伝送と記録メディアの手軽さから選択した制作技術デジカメ(PMW-200)でしたが、正直厳しかったです。また、競技会場に持ち込める機材が制限されており、小型のデジカメしか持ち込めない会場では、irigとiPhoneでレポートなどを撮影しました。小型デジカメ(PXW-Z90位)がもう1台あれば良かったです。



クロアチアのTV局からインタビューを受ける

## 8.最後に

今回はオリンピックでの「今日ドキッ！」中継という初めての経験でした。事前の準備等はしっかりしていたつもりでしたが、会場への持ち込み可能品の確認や、送り返し用携帯電話のかけ方等、もっと事前に準備できたことがあったと感じました。とはいえ、中継中に大きな事故が無かったことは幸いでした。

余談ですが韓国のご飯は非常に美味しく、どの店に行っても満足できまし

た。必ずキムチなどのおかずが何品もついてくる上に、おかわり自由というありがたさです。しかも必ず店には無料のコーヒーメーカーが置いてあり、食後に甘いコーヒーが飲めます。またマッコリが750mlで約160円程度の安さなのが魅力です。しかも日本のマッコリよりはるかに美味しいのです。



大会期間中はアナウンサーのリンパが腫れたり、自分が風邪を引いたり、携帯が水没したり、出発前にコーディネーターが骨折したりと色々有りましたが、貴重な経験となりました。